

目標達成計画

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	○理念の共有と実践 理念は、事業所の目指す方向性を示すものであり、常に立ち返る原点であることを踏まえて、職員全体で常に確認し共有しながら、実践に繋げるよう期待したい。	グループホームの理念は設定し事業所内に掲げ事業推進に当たっているが、介護環境等々も変化してきており、現行の理念等について検討を行う。	他事業所の状況等も収集し、今日又今後求められている介護環境や方向等について職員協議を進め必要に応じ見直し、再設定を行う。	1年
2	13	○災害対策 災害時の避難場所を家族や関係者に周知すると共に、飲料水や防寒具などについて備蓄を検討されることが望ましい。	どの範囲の災害等を想定して(風水害、停電等)考えるか等々また、どこに備蓄するのか等々また、備蓄した場合の運用方法等の情報収集を当面進める。	他事業所の取り組みや事例等の収集や情報交換を行い、検討を進める。	2年
3					
4					
5					

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。